

令和5年10月5日(木) 発行



高 大 附 高 だ け だ け

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

t.s takasaki
shirayuki
商大附 各部の活躍



ペープアーツ部

第92号
2023・10



アーチェリー部



フェンシング部



バドミントン部



硬式テニス部



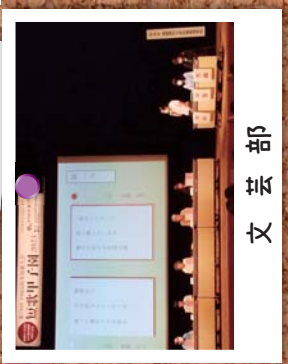
空手道部



放送部



水泳部



文芸部



バドントワリング部

ご挨拶



父母の会会長
神宮 美和子

この度、令和五年度父母の会会長を務めさせて頂くことになりました神宮美和子と申します。高崎商科大学附属高等学校は明治三十九年に開学してから、大正、昭和、平成そして令和と続きます。この伝統ある我が母校、商大附の父母の会会長を仰せつかりましたことを大変光栄に思っております。また、父母の会の皆様には日々の父母の会活動におかれまして多大なるご理解とご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。父母の会は学校と保護者の連携を図り、子どもたちの為に最良の教育環境を整えるための組織です。今後も校長先生をはじめ諸先生方ならびに保護者の皆様にご協力いただきながら、一年間より良い活動に貢献していきたい所存です。そして、五月の総会では皆様の

ご協力のもと滞りなく議事が進められましたこと、厚く御礼申し上げます。また、六月下旬からの学年学級懇談会では、各学年においてテーマに添った活発な意見交換がなされ、保護者同士はもろろんのこと、先生方も顔を合わせる事が出来たのではないのでしょうか。今年は二年に一度のスポーツ祭が高崎アリーナで開催されます。私達は初めて応援に行けるということで、子どもたちの躍動する姿を想像すると今からとても楽しみです。

三年生はいよいよ自分で進路を決める大切な時期になりました。親として『だまって見守る』。子供は大切なステップアップです。焦らず、お互いに適切な距離を見つながら応援していこうと思えます。

最後になりましたが、学校の益々のご発展と父母の会会員の皆さまのご多幸をご祈念申し上げます。言葉整いませんが挨拶とさせていただきます。一年間よろしくお願ひ申し上げます。



ご挨拶



校長
安齊 義宏

父母の会の皆様には日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

数年にわたり、学校教育にも影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症も五月には二類から五類感染症に移行しました。これまでの間、父母の会の多くの方々が学校行事を支え、生徒たちの成長に寄与していただきました。皆様の協力のおかげで、我が校の教育活動が無事に続けられましたことに對し重ねて感謝申し上げます。

父母の会の活動においても、総会・役員引き継ぎ懇親会も多数の出席をいただき有意義に楽しく実施することができました。また、六、七月には学年学級懇談会に多くの保護者様がご参加くださり開催することができました。いただいた

た感想には「保護者間での意見交換もでき、とても有意義で充実した懇談会であった。」というご意見も頂戴しました。こちらについては報告書もぜひご覧ください。今年度後半の父母の会活動も引き続き、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

さて、二〇二三年度のこれまでも振り返りますと新型コロナウイルス、ロシア・ウクライナ情勢、北朝鮮ミサイル、ルフィ広域強盗事件、物価高騰、そして異常気象など様々なニュースを耳にしました。その中でも良いニュースとして「若者の活躍」というものが印象に残っています。毎日報じられている大谷翔平の活躍、藤井聡太棋士の八冠挑戦、その他世界陸上やバスケットワールドカップでの熱い戦いなどが私の胸に響いています。そして本校の生徒も高校生という若い力を発揮しながら様々な場面で活躍しています。運動部では空手道、アーチェリー、テニス、フェンシング、バレーボール、バドミントンが、文化部ではペップアーツ、放送、演劇、書道、文芸、バトン、軽音楽などが関東や全国の舞台で躍動しました。また、硬式野球部

も春季大会では初のベスト4に進み「甲子園」という夢を感じさせる内容でした。その他の部活動やボランティア活動では猛暑の中熱心に活動してくれました。オーブンスクールではSSG (Shodai School Guild) が大活躍し、三千人を超える来校者に対し素晴らしいプレゼンを行ってくれました。こうした生徒たちの活き活きとした活動に、輝かしい未来を感じるところです。私たち教員は、子どもたちがさらにその力を伸ばしていくようサポート役として保護者とともに子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

また、一学期にご協力いただきました「学校評価アンケート」におきましては貴重なご意見ご感想をいただきありがとうございます。内容を精査しながら改善に努めてまいります。



学年委員長挨拶

三年委員長 堀口 泰

今年度、三年委員長を務めさせて頂きます堀口です。宜しくお願ひ致します。

今年度は、いよいよコロナ禍解放へ向けて、五月より、新型コロナが五類に引き下げられました。マスク着用も徐々に減り、クラスの間と笑顔を見せながら楽しそうに話す姿は、コロナ前の光景に戻りつつ有ると感じます。

コロナ禍では、マスク着用義務、三密制限等により普通だと思っていた事も我慢を強いられていたと思います。

その状況下の中でも、悲観的にならず乗り越えてきた生徒たちはとても素晴らしく、頼もしく感じました。

三年生は、進学試験、面接試験に向けて不安と格闘している生徒、進路が決まり心を落ち着かせている生徒、様々な思いを持っている生徒と交錯している時期と思いますが、コロナ禍の状況を乗り切った事を糧にし、残りの高校生活、

緊張感を持って有意義に過ごして頂ければ幸いです。

最後にこの大変な状況下の中、親身に接して頂き、ご指導賜りました、安齊校長先生を始め先生方には心より感謝申し上げます。

二年委員長 永田 衛

過日「進路実現に向けて」をテーマに開催された二年生父母の会、学年・学級懇談会。

私達保護者は、再び子供達の進路選択に立ち会う時が来ました。子供達は入学してから一年六カ月。まだ、明確な将来のビジョンを持ち合わせていない子供が、大多数だと思います。

しかし時は待ってくれません。あと九カ月程で進路を決めなければならぬ。私達もそうだったように、子供達は人生の選択について、大いに迷い、悩むことでしょう。

私の敬愛する芸術家・岡本太郎氏は著書でこう述べています。「人生はキミ自身が決意し、貫くしかないんだよ。」

自分で選び歩み始めても、時には挫折や理不尽なこともあり、歩みを止めてしまうかもしれません。

そんな場面に遭遇したら、岡本太郎氏のこの言葉を贈ります。

「挑戦した不成功者には、再挑戦者としての新しい輝きが約束されるだろうが、挑戦を避けたままオリーブにしまったやつには新しい人生などはない。」

人生は、いつ何時も挑戦しなければなりません。歩みを止めれば、未来もないでしょう。

私達保護者もまた、子供が決めた道を明るく楽しく歩み続けられるよう、応援し続けなければなりません。

一学年委員長 庄司直樹

今年度、一学年委員長を務めさせて頂くことになりました庄司と申します。

保育園、小学校、中学校と色々な役員を務めさせて頂いていた為に、昨年度まで高校での役員は「奥様」に任せきりで不慣れな為、皆様にはご迷惑をお掛けしてしまいかと思います。教職員の方々、父母の会の方々にご協力、ご支援頂き子供たちが「高校生の時は楽しかった!」と「えがお」で「少しでも良い思い出」になれるよう

父母の会総会報告

令和五年度父母の会・部活動後援会の総会が五月二〇日(土)午後一時三〇分より本校講堂にて開催されました。

総会は水井悟副会長の司会進行、徳井直機書記による開会宣言で始まり、中嶋勝利会長、安齊学校長より挨拶、学校の近況報告があり

に努力していきたいと思っておりますので若輩者ですが、宜しくお願い致します。
約百三十校の県内外、色々な学校から集まった商大附高生、地域によって違いがあります。あたりまえ、常識と思っていた、言葉、行動、味、etc。
縁あってせっかく仲間になったので「それ違うよ!」ではなく「その地域はそうなのか?」「そういう言い方も有るんだ?」「そっちのやり方が自分に合っている」など思いやりの心を持って色々と接し学んで見てください。
きつと次に繋がるよい経験になります。

令和5年度 父母の会本部役員

(部活動後援会本部役員)

会 長	神宮美和子 (F3-9)	理 事	原 明子 (F3-10)
副会長	堀 口 泰 (S3-1)		矢内真紀子 (S3-2)
	永 田 衛 (F2-9)		辻本律子 (F2-1)
	庄 司 直 樹 (F1-8、F1-9)		植原紀子 (F2-2)
書 記	山 岸 千 冬 (F3-1)		田村美佳 (F2-5)
	間 正 良 昭 (F2-3)		小林光義 (F2-7)
	下 田 寛 太 (事務室)		渡邊雅恵 (F2-10)
会 計	藤 田 由 美 子 (S3-1)		長岡豊美 (F2-11)
	根 岸 由 美 (F2-8)		市川詠美 (F2-12)
	板 垣 哲 平 (事務室)		湯浅ひろみ (S2-1)
理 事	森 田 愛 子 (F3-2)	監 事	赤 石 花 子 (S2-2)
	荻原寿枝 (F3-3)		茂木國治 (F3-8)
	鈴木珠美 (F3-4)		松井伸一 (F3-11)
	榎園秀美 (F3-5)		中林 桂 (F2-4)
	東山敦美 (F3-6)		山田 絢 子 (F2-6)
	内山 敬 (F3-7)		織 茂 恵 子 (F2-9)
	高 田 礼 子 (F3-9)		清水龍宴 (F1-3)
			鶴見愛理砂 (F1-4)
			稲葉ゆきこ (F1-5)
			石井 敬 (F1-7)
			青木朋子 (F1-9)
			高見純子 (S1-1)

ました。続いて議事に入り、事務局より令和四年度事業報告、決算報告並びに高橋浩美監事より監査報告があり、慎重審議のもと承認されました。

次に本部役員の改選が行われ、令和五年度新会長に神宮美和子さんが選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十九名の役員が選出、承認され、新体制がスタートいたしました。新役員を代表して神宮新会長挨拶の後、事務局よ

り令和五年度事業計画案、予算案が発表され、原案通り承認されました。続いて神宮新会長より中嶋前会長の顧問就任が提案され、承認されました。また、学年委員長として、三年学年委員長堀口泰さん、二年学年委員長永田衛さん、一年学年委員長庄司直樹さんが紹介されました。

最後に、本会にご尽力頂いた中嶋前会長始め、退任された役員の方々に、学校長より感謝状と記念

品が贈呈され、退任者挨拶の後、堀口新副会長の閉会挨拶があり、会員の皆様のご協力をもちまして総会は滞りなく終了しました。

なお、総会の結果につきましてはこちらの報告させていただきます。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

(書記 山岸千冬)

父母の会 令和4年度決算報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
会費	16,176,000	16,331,000	△155,000	@1,000×1,368人×12ヶ月
入会金	2,320,000	2,320,000	0	@5,000×464人
受取利息	3,000	226	2,774	定期預金・普通預金
衛生費	1,368,000	1,368,000	0	@1,000×1,368人
前年度繰越金	8,614,875	8,614,875	0	普通預金 8,614,875円/現金 0円
合計	28,481,875	28,634,101	△152,226	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
備品費	2,500,000	1,034,550	1,465,450	第3校舎女子トイレ出入口扉改修
会議費	1,200,000	290,067	909,933	役員会・学年・学級懇談会経費
慶弔費	350,000	276,220	73,780	香典・供花・饌別
補導費	50,000	0	50,000	校外の生活指導費・情報交換会等
環境整美費	2,000,000	914,130	1,085,870	掃除用品・ゴミ処理他
保健衛生費	1,500,000	1,438,800	61,200	汚物処理・保健室常備薬等
旅費交通費	200,000	17,860	182,140	役員研修交通費等
部活動賛助費	2,500,000	2,500,000	0	部活動後援会の補助
通信費	1,500,000	1,328,178	171,822	生徒連絡網システム年間管理料他
消耗品費	30,000	0	30,000	コピー用紙等
進路対策費	2,000,000	1,078,000	922,000	進路資料、2022年度版大学入試シリーズ
生徒会事業協力費	2,000,000	1,874,081	125,919	予餞会・商大附高祭協力金
卒業生記念品費	400,000	243,000	157,000	卒業祝紅白餅
教育研修費	700,000	0	700,000	教職員研修補助
印刷費	1,000,000	467,940	532,060	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車輛運営費	1,500,000	644,576	855,424	車輛維持・燃料代・修理代
諸会費	4,000,000	2,753,296	1,246,704	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金 高P連賠償責任補償制度加入
雑費	200,000	106,393	93,607	大会パンフレット協賛広告料等
車輛購入積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
創立120周年記念事業積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
育英基金協力金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金へ寄付
[予備費]	300,000	0	300,000	
次年度繰越金	551,875	9,667,010	△9,115,135	普通預金 9,560,454円/現金 106,556円
合計	28,481,875	28,634,101	△152,226	

※特別繰越金

科目		金額	科目		金額
創立120周年記念事業積立金	前期末累計額	5,000,000	車輛購入積立金	前期末積立累計額	4,000,000
	当期積立額	1,000,000		当期積立額	2,000,000
合計(当期末積立累計額)		6,000,000	合計(当期末積立累計額)		6,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
 " 父母の会 会計
 " 事務局

部活動後援会 令和4年度決算報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
会費	24,264,000	24,496,500	△232,500	@1,500×1,368人×12ヶ月
入会金	2,320,000	2,320,000	0	@5,000×464人
賛助会費	3,000,000	3,000,000	0	父母の会 250万円 同窓会 50万円
雑収入	0	1,905,219	△1,905,219	大会派遣費補助金収入
寄附金収入	300,000	366,925	△66,925	自動販売機売上手数料
受取利息	3,000	394	2,606	定期預金、普通預金
車輛購入費	0	0	0	
前年度繰越預り金	3,382,052	3,382,068	△16	春高バレー預り預金
前年度繰越金	14,686,098	14,686,098	0	普通預金 12,938,319円/現金 1,747,779円
合計	47,955,150	50,157,204	△2,202,054	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
大会費	16,600,000	18,216,209	△1,616,209	四国総体/東京全国総文/全国選抜(三重県、他)協会・連盟登録費
報償費	7,000,000	7,310,600	△310,600	指導員・コーチ等の謝礼
合宿費	1,000,000	468,300	531,700	合宿補助
備品費	2,000,000	1,543,414	456,586	部活動消耗品各種他
強化費	3,000,000	752,810	2,247,190	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉外費	150,000	0	150,000	広告協賛金他
車輛運営費	1,600,000	1,036,619	563,381	車輛維持費・燃料代・修理代
車輛購入積立金繰入支出	2,500,000	2,500,000	0	積立定期預金
雑費	50,000	0	50,000	
部活動振興積立金繰入支出	1,500,000	1,500,000	0	積立定期預金
車輛購入費	0	0	0	
預り金次年度繰越金	3,382,052	3,382,068	△16	春高バレー出場の場合のみ使用
[予備費]	200,000	0	200,000	
次年度繰越金	8,973,098	13,447,184	△4,474,086	普通預金 11,656,084円/現金 1,791,100円
合計	47,955,150	50,157,204	△2,202,054	

※ 寄附金収入について： 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

科目	金額	科目	金額
部活動振興積立金	前期末積立累計額 11,500,000	車輛購入積立金	前期末積立累計額 6,000,000
	当期積立額 1,500,000		当期積立額 2,500,000
合計(当期末積立累計額)	13,000,000	合計(当期末積立累計額)	8,500,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

" "

部活動後援会 会長

部活動後援会 会計

事務 局

娘に望む高校生活は、自己成長と幸福感を追求してほしいと思います。自分自身を知り、自己肯定感を持ち、友人との関わりを大切にして、思いやりのある行動を心がける事。また、がんばり過ぎる一面もあるので適度にリラックして休息もとりながら、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

中学校生活は、コロナ禍でほとんどの行事が中止や縮小となり、

少し過保護かもしれませんが、勉強についていけるだろうか、クラスになじめるだろうかと心配していました。お気に入りの制服を着て、毎日学校へ行く姿は少し頼もしく見えます。

一年生
父母が語る我が子に望む
高校生活

普通科特選 木村佳代子

商大附への進学を決めるにあたり、娘は自ら考え、悩み、中学校の友達もいない新しい環境に身を置き、大学進学へ挑戦する事に決めました。

親としては、もの足りないように感じました。高校生活の三年間では、たくさん経験を通じて、大きく成長してくれると信じて応援したいと思います。

普通科特進 清水龍宴

私が高校生になったころは、と考えると約四十年前、月日の経つのは早いものです。その頃は景気が上向きで、進学、就職の選択肢も多かったので、「留年しないで卒業できれば」くらいの意識で学校に通っていました。身だしなみを整える意識はあまり持たず、車やバイク、出始めのパソコンが興味の対象でした。スマホどころか携帯電話もなく、ラジカセで音楽を楽しんでいました。

息子の高校生活はかなり違います。毎日身だしなみを整えて、品の良い制服に身を包んで出かけてます。スマホとイヤホンを手放しません。学校が楽しそうではっきりとしたもつつかの間、すぐに進路指導が始まり、昨年の実績に基づく情報量の多い進路資料をもらいました。一年生一学期から将来の仕事やそのためのステップを意識する

ことが求められるのですね。

息子の高校生活に何を望むか考えたときに、環境や状況が違っても、先生との出会いが重要なのでは、と思ひ至りました。振り返ってみると、私自身は小学校、中学校、高校でいい先生に出会ったという実感があります。印象深いのは中学校二年生、担任のK先生です。先生のおかげで自主学習の習慣が身に付きました。女性で英語の先生でした。

現在、息子はいい先生やコーチに恵まれています。幼いころから続けてきた水泳では、通っているクラブで良い指導を受けるようになり、記録が伸びています。商大附には水泳部がないのに、ご好意で学校の選手として大会にエントリーしてもらっています。しかも大会には先生が引率して下さいます。

そして、息子のクラス担任は女性で英語の先生です。親としては、自主自律を伸ばすその指導方針を頼もしく感じています。息子は「持つてるなあ」と思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

普通科進学 稲葉ゆきこ

息子は併願で入学しました。当初は学校生活に慣れるのに時間がかかるのではないかと、大好きな野球は続けられるのだろうか。親子共にたくさん不安を抱えての入学でした。

しかし、野球部の方々はそんな息子を受け入れてくださり、そして学校生活もあつという間にたくさん友達に囲まれ、「毎日楽しい」と報告してくれるようになりました。恵まれた環境で過ごさせていたでいることに、親として安心と感謝の念を抱いております。

息子に望む高校生活は、最後まで努力を怠らず、嫌いなことや苦しいことがあつても逃げずに前を向いて一生懸命やります。継続する力、自立心、そうしたものを築き上げていくことは将来、社会に出た際に一番の糧となります。そして目標を持ち、仲間を大切に、助け合いながら充実して三年間を送って欲しいと思います。

親としても、だんだんと成長し、自立していく息子を全力でサポート

トして見守りたいと思っております。

総合ビジネス科 高見純子

小、中学校の九年間、全く変わらないメンバーと過ごす我が家の校区。高校受験は初めて自身で選ぶ人生の大きな選択であり、広い世界に踏み出す最初の一步のように思えました。

自分で行きたい高校を決めて合格を勝ち取り、憧れの制服を着て毎日元気に学校に通う。部活の吹奏楽部もとても楽しく毎日充実している様子。そんな当たり前の日々に感謝しつつも、もう少し成績が良ければとか、もう少しこうしてくれたら…などという欲張りな期待をしてしまうのが母親なのでしょうか。

とにかく毎日元気で楽しく過ごしてくれていたら母は幸せなのですが、もう一つ。自分のやりたい事、なりたい自分を見つけたら目標に向かって一生懸命努力する！と言う事をやってみて欲しいです。自分のやりたいことを実現できる力を身に付けて欲しいと願っています。その過程や達成感是自己肯

生語る
二年が
父母が

我が高校時代 夏の思い出

普通科特選 辻本 律子

私の高校は、県下でも名の知れるほど体育祭と文化祭が盛大な学校でした。必然的に私も、高校時代の思い出と言えば真っ先に体育祭が浮かびます。

体育祭は市内の陸上競技場を借りて開催され、三学年が縦割りで八つの団に分かれて競いましたが、競技よりも生徒が力を入れたのは応援合戦と各団の発表でした。男女ペアダンス、マ스ゲーム、競技中に応援席で踊る通称「ひなダン」など、音楽を選び、家庭科室でチーム衣装を作り、振り付けを考え、夏休みは毎日ひたすら皆で練習しました。揉めることも多く、しん

定感を高め、魅力的な人間に成長させてくれると信じております。三年間は本当に短い。ずっと記憶に残るような濃密な高校生活を過ごしてもらいたいと願い、応援しています。

どいことも沢山ありました。今となってはただ懐かしく、あれは確かに私の青春のキラキラしたページだったなと思います。

若いときに何かに打ち込むというのは一生の思い出、宝物になりますね。私は今でも、自分たちがダンスに使った曲がかかるとつい踊ってしまい、スパーで娘に叱られながらそれを痛感しています。

皆さんの高校生活にも、キラキラした素敵な宝物が満ち溢れていると思います。全力でエンジョイして下さい。応援しています。

普通科特進 間正良 昭

高校時代の夏の思い出と言えば、水泳部で過ごした思い出です。

私が水泳部に入学したきっかけは、同好会だった活動を部活に昇格させるために、仲の良い友人から誘われたのがきっかけでした。中学時代、丸坊主の野球部で過ごした私にとって、全く縁のない水泳というスポーツ。四月には水温の低いプールで泳いで、五分も持たずに足がつってしまったり、百メートルも真面目に泳いだことがないのに、大会に出場させられた

りと、本当に無茶苦茶でした。

そして夏休みには式根島での合宿。式根島は竹芝棧橋から船でゆられること約九時間のところにある伊豆諸島の島で面積約三・七キロ平方メートルと小さく、白い砂浜とエメラルドグリーンの海がとても美しい島でした。美しい海でのシュノーケリングは、これまでの無茶苦茶とは違い、さまざまな海の生物を楽しむことができました。とても良い経験となりました。

こうして自身の高校時代を振り返ると、水泳部の入部は無理なように感じたものの、友人たちとの楽しい時間を通じて、新たな世界を知ることができた、良い思い出となりました。

普通科特進国際 田村 美佳

私の高校時代の夏の思い出と言えば、部活動とアルバイトの毎日忙しい日々だった事を記憶しています。部活動は弓道部に所属していました。弓道部に憧れて、その高校に入学し、夏休みの期間は朝から夕方まで弓道場で練習をして、試合にむけて取り組んでいました。毎日忙しかった日々ですが、

大好きな袴を着て弓道の練習をしていた事は楽しい思い出です。その時出会った友達とは今でも繋がりがあり、時々会っては楽しかった思い出を語りあって、その頃の事を思い出しています。娘にも、一生の友達ができる事を願っています。

アルバイトはレストランのキッチンでしていました。家では母親の手伝いもしなかったのに、ハンバーグをこねたり。フライヤーでポテトを揚げたり、包丁で肉や野菜を切ったり、色々な経験をしました。アルバイトでは色々な年代の方と関わる事ができ、よい社会経験となりました。毎日とても忙しかったですが、とても充実した学生生活を送れました。皆さんも学生生活を謳歌し、悔いのない学生生活を送って下さい。

普通科特進学 市川 詠美

私の高校時代の夏を思い出すと、ずいぶん前になりますが二つあります。一つ目は部活動です。私は吹奏楽部に所属しマーチングバンドを経験しました。小中学校で経験した吹奏楽とは違い、マーチン

グは歩きながら演奏するので、文化部ですが運動部のような練習メニューで体力に自信がない私にとつては大変でした。練習は大変だったけど友人、先輩後輩と仲良く楽しめ参加できました。

夏といえば合宿です。朝から晩までハードな練習でクタクタになります。それ以上に友人と過ごす時間は楽しいものでした。大変な練習を一緒に努力し、たくさんのイベントやコンクールに参加しました。コンクールの順位発表で賞をとって喜び合った事は今でも思い出に残っています。仲間と力を合わせてやり遂げる経験ができた部活動は思い出の一つです。

二つ目は、クラスの友人と過ごした夏休みです。宿題なんて出ていた事さえ忘れてしまったくらい友人と一緒に楽しく過ごした記憶しかありません(笑)。何をするにも、どこに行っても、ただ友人と一緒にいて一緒におしゃべりする、それだけで最高に楽しかったのです。高校時代にできた友人は、大人になった今でも、年月が経ち逢う回数は少なくなっていますが、今でもかけがえのない存在です。子供達にも今、高校

生活を思い切り楽しめ、高校でできた友人を大切に、青春時代を過ごせることを願い、応援しています。

総合ビジネス科 赤石花子

夏と言えば甲子園。高校時代、吹奏楽部に所属していた私は、高校生活の放課後は外が真っ暗になるまで部活に時間を費やした記憶があります。楽しかった思い出もありますが、辛かった記憶も蘇ります。その中でも、夏はコンクールと同時に野球部の応援で、スタンドで応援歌を演奏する迫力は、室内で演奏する感覚とは違ったものがありました。野球のルールもあまり分からない中でも、勝って欲しい、頑張って欲しい一心で吹き続けました。声を出して「頑張つて」と言いたい思いを息の中に込めて力強く吹くあの感覚は、今でも忘れられずにいます。勝つても負けても泣き、終わって帰る時は汗と涙でグシャグシャでした。この思い出は、夏の高校野球がテレビで放映される度に思い出します。高校時代にしか味わえない、あの思いや感覚がとても良い経験とな

り、今の私がいるのだと思います。子ども達にもその時にしか味わえない思いを沢山経験して欲しいと願っています。そして、目標に向かって取り組めるようサポートをしていきたいと思えます。

三年生 父母が語る 進路達成に向けて 我が子に送る エール

普通科特選 山岸千冬

高三の一学期、部活や生徒会の全国大会へ向けての活動が忙しく受験勉強が後手に回っている今日この頃。家に帰って来て進路について話したいと思っても「残務があるから」と言ってタブレットに向い作業する日々。ある時、志望理由書を提出したと聞き「どの大学にしたの?」と聞く始末。今年はまだあまり小言を言わないよう決めたのに、この状況では駄目だと思ったので、二人で納得がいくまで話し合い、受験に向けての方向性を決めて行きました。また新たな活動が決定した事もあり受

験と平行になります。自分の力を発揮したいと語っていました。夏休みが終われば、受験に向けて本格的に頑張らなくてはなりません。それは誰の為でもなく、自分の為です。そして頑張っているのは一人ではありません。貴方の友達も目標達成に向け、切磋琢磨している事でしょう。

やりたい事は無限大。人生は一度きり。成功するだけの人生はつまらない。失敗から学ぶ事も沢山ある。何事にも恐れず挑戦し、自分の夢を叶えて欲しいと思う。そんな貴方を応援しています。

普通科特選 鈴木円香

早いもので高校生活も残り約半年。長引くコロナウイルスの影響から徐々に解放され、以前の生活に戻つてくると同時に学校行事も通常通り開催される様になりました。娘もイベントの一つ一つを楽しみ、思い出を沢山作っている様で良かったと思います。オープンキャンパスや体験授業も感染に注意しながらも行ける様になりました。学校の雰囲気を感じることが良い経験となり、よ

り志望先が明確になった様に思います。体調を崩してしまった事で楽しい時だけでなく、苦しい時、辛い時も沢山あったと思います。そんな状況の中でも、自分の将来を考え自分のやりたい事を見つけたあなたはすごいと思います。自分の夢に近づく為の進学先を、やっと見つけたと報告してくれた時、とても嬉しそうで私達も嬉しくなりました。

今まで経験してきた事も、これから経験する事も、無駄な事なんてない。全てあなたの糧になると思います。どんな時でも家族はあなたの味方だし、応援しています。一步一步あなたのペースで、後悔のない様に歩んで行って下さい。

普通科特進国際 荻久保 潤

時が経つのは早いもので、次女が高校三年生、進路を決める時期になりました。長女も貴校でお世話になり、私にとっては子供達が巣立つ最後の年となりました。

長女は興味のある事、やりたい事が明確だった為、高校一年の時に入塾して進路が決定していました。ですから早い時期より、資料

等の収集やオープンキャンパスへ参加、試験対策への取り組みができ、結果、志望大学への進学が叶いました。

次女は興味のある事、やりたい事が見つからず、一緒に話し合いをしながら、時にはこちらから提案などもしたり、高校二年の時にはオープンキャンパスへ参加し、検討したりしました。ですが、

「お母さんが何故決めるの？私の将来なんだから勝手に決めないで。」と言われてしまい、我に返りじつと待つことにしました。長女の時は、それはそれで大変な思いもしましたから、次女はスムーズに事が進んで欲しいと、心のどこかで願っていたことが裏目に出てしまいました。

しかし、考えてみれば、日々の勉強や部活に追われ、気が付けば三年になり、進路についてじっくりと考える時間をつくる事は、難しかったかもしれません。

今自分が関心のある事は何か考える時間を持ち、方向性が決まったら志望校をいくつか選択し、オープンキャンパスに見学に行き決めました。

娘にとってはこの選択で良かったのか悩むこともあると思いますが、途中で立ち止まっても人生は長いのでやり直しても良いと、経験したものは決して無駄にはならない、自分の糧になるから、まずはチャレンジしてみたいです。

普通科進学 内山 敬

「自分の夢ってなんだろう」「将来やりたいことが見つからないのどうやって進路を決めたいのだろう」夢ややりたいことが見つかるタイミングは人それぞれなのに、進路を決めなければいけない岐路に立ち、苦しさを感じていることでしょう。

初めてアフリカに靴を売りに行つたサラリーマンの話があります。一人は「これはまったく売れませんが、誰も靴を履いてませんから」と報告。もう一人は「これはすぐ売れますよ、誰も靴を履いてませんから」と報告。これは売る気があるかどうかという話です。人間にとって大事なものはアタマが正しいか悪いかではなく明るい暗いか光か闇か陽気か陰気かその方が大切な事です。

やる気、勇氣、元氣

やったことは例え失敗しても二十年後には笑い話にできる。しかし、やらないことは二十年後は後悔するだけです。不安なこともあるかもしれないけれどきつと大丈夫。自分を信じて突き進んで下さい。そして、いつもあなたのそばには家族がいることを忘れないで下さい。

総合ビジネス科 矢内 真紀子

三年前の今頃は高校進学について悩んでいたのに、あつという間に次の進む道を決める時が来ましたね。入学直後から進路について考えてと先生方が言っていたので頭の片隅にいつもひっかかっていたでしょう。

今回の進路だけではなく、この先も「これでいい」ではなく「これがいい」という気持ちを大切にしたいです。周囲に流されず自らの直感を信じて進んでください。迷った時は「今どうしたいのか？」を見つめてみてください。先のことばかり考えて、頭の中で心配ばかりしていても答えは見つからないのです。

身を置いた環境が頑張ってみて

も合わないなら、次の場所に移動すればいいだけ。とにかく動いてやってみてください。
好きなことが得意なこととして身につけているのですから、それを存分に活かしてみるのがよし。そこに執着せずに他の世界を見てみるのもよし。



特別進学選抜・特別進学コース

一年主任 神戸 沙織

特別進学コースは四月に一二九人の一年生を迎え、新たな一歩を踏み出しました。団体研修や球技大会、音楽教室等の学校行事、部活動、日常生活の中で、各自の個

性を開花させながら目標に向かって歩み始めています。

一組は難題にも果敢に取り組み強い意欲を感じるクラス、二組はコミュニケーション豊かなチャレンジ精神溢れるクラス、三組は明るく活発でありながらもけじめのあるクラス、そして四組は落ち着いて人の話を聞き、節度ある行動を取れるクラスです。全体的に遅刻や欠席が少なく、朝学習への熱心な取り組みは特筆すべきことです。保護者の方々のご協力なくしてこうした素晴らしい姿勢の形成はありえません。心より感謝申し上げます。

朝学習への参加は自己管理や時間の大切さを学ぶ重要な一歩と言えます。英語検定や漢字検定の合格率からも努力の結果が見て取れます。また、遅刻や欠席の少なさは責任感や協力の意志の表れと感じます。

素晴らしい仲間との出会いは学業のみならず、人間性の成長においても大きな意味を持ちます。今後もこの姿勢を持ち続け、商大附での三年間が充実したものとなるよう願っております。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

二年主任 茂野 宏道

一学期を終えて。まず、特進コースを始め、生徒たちは、高い学習意欲と責任感を持って取り組んでくれました。その結果は一学期の成績優良者の数が例年になく多かつたことから窺えます。彼らの積極性と努力は素晴らしい、クラス全体の雰囲気は大いに盛り上げました。

一方で、課題もありました。一部の生徒たちは学習への取り組みがまだ不十分であり、学習以外の面でも人間関係や進路に関する悩みなど、個別に対応する必要があると感じられます。心身共に健康なことがまず第一であり、欠席、遅刻等を減らすなど基本的な生活習慣を確立させることも大事です。今後は、より効果的な個別指導の方法を模索し、生徒たちの成績向上および、精神面でのサポートに繋げていく必要があります。これからの二学期も、より良いコースの運営を目指して、生徒たちの成長と学習環境の向上に全力を尽くし、感謝の気持ちを忘れず、

生徒たちの可能性を最大限に引き出すために取り組んでいきたいと思えます。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

三年主任 内田 由香

新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられ、日常が取り戻されつつあります。感染症拡大から三年が経過し、様々な場面で制約や我慢を強いられてきた生徒たちも、高校生としての生活を満喫しているように思います。そんな中、いよいよ最終学年を迎え、進路に向けてそれぞれがスタートを切り始めました。今年の夏の登校講座では、生徒の主体的な学習をサポートするために、初めて選択講座制を導入しました。自らが必要な力や知識を考えて科目選択を行い、力を伸ばす機会として有効活用してくれたと思います。

コロナ禍を経て、働き方や学びの在り方など、社会は大きく変化をしました。大きな転換点でこれからの社会を担う若者に求められる力は、獲得した知識を用いて主体的に考え行動する力です。進路

選択では、その準備段階で学校や学部、学科、職業についてなど、自らの社会で果たす役割を考える機会が多く与えられています。進路決定を大変なことで捉えるだけでなく、能動的に思考し、行動する力を養う好機と捉えて前向きに臨み、進路達成を果たしてくれることを願っています。

一学年進学コース主任 須藤 陽子

令和五年度が始まり、はや五か月が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症が五類に移行されて以降、学校現場では次々に感染流行以前に戻ろうとする動きが生まれています。三年ぶりの従来からの入学式から始まり、学年集会も久しぶりに実施しました。マスク着用者も少しずつ減少し、会話も弾みがちです。

今年の一年生は遅刻・欠席者が少なく、登校時間も早い、挨拶ができるなどのよい傾向が見受けられます。また、部活動の入部状況も良好で、八〇%以上の生徒が参加しています。しかし一方で、なかなか自己判断や表現することが

苦手な生徒も増えているように感じます。これは、休校などにより様々な活動や判断が抑制されたせいでしょうか。もともと自分を表に出してほしいと感じる場面があります。一朝一夕には実現はしないでしょうが、進学コースの大きな柱である『学習と部活動の両立』をぜひ実行し、充実し活気あふれる高校生活を送ってほしいです。

二期が始まれば、すぐにスポーツ祭も実施されます。その後高校生活の三年間などあつという間に過ぎてしまいます。進路選択然り、部活動でも主力として牽引していくようになるでしょう。これから大いに伸び代ある生徒たちの学校生活を我々は全力で支えていく所存です。

二学年進学コース主任 井出 望和

二年生進学コースの保護者の皆様方には、日頃からのご理解とご協力、心より感謝申し上げます。

二期も半ばを過ぎ、高校二年生にとっては、三年間の高校生活も折り返し地点を過ぎました。卒業はまだまだ先だと思っても、

気がつけば、あつという間に過ぎてしまっています。来年の今頃、自分はどうなっているのか、希望進路達成はどうなっているか、三年生の姿を見て、自分事として考えて欲しいと思います。

大リーグで数々の偉業を成し遂げている大谷翔平選手は、「花巻東高校の一年生の時に「目標達成シート」を作成し、取り組んだそうです。中心に一番強い目標・夢を置き、その目標や夢を達成するために必要な要素をなるべく具体的に、また少し高い目標を書き込むようにしたそうです。入念な準備あつてこそ現在の結果なのでしょう。

各ご家庭でも進路達成に向け、具体的な話し合いを進めていただければと思います。保護者の皆様方のご協力があつてこそ、生徒たちは充実した学びが得られます。われわれ二年生進学コース教職員も常に相談が行えるよう心がけておりますので、遠慮なくご活用ください。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



三学年進学コース主任

上和田 直

高校三年生も一学期を終え、夏休みになります。高校時代最後の夏休みは生徒たちにとって人生の大きな分岐点になる可能性があります。それは進路決定に向けた最大の山場になるからです。長期の休みになるためたくさんの誘惑がある中でそれらに打ち克つ覚悟が求められます。しかし、生徒たちはその覚悟ができないことがあります。ここで力を貸していただきたいのが家族の力です。暖かく見守っていただきながら、応援する声かけや、頑張らせる声かけなどで背中を押してあげてください。しかし、時々息抜きも大事にしてあげてください。

進路の決定は頑張るのはもちろん生徒です。しかし、一人では苦しいときもあります。そんな時こそ家族として総力戦のつもりで乗り越えていきましよう。

高校時代は、人格の形成期でもあります。入学した時と比べると大きく成長しているとおもいます。十八歳になった生徒は選挙権も取得します。これは社会人としての

スタートです。高校生活もあと少しですが、このあと少しがものすごく濃い時間です。進路を決め、社会人として巣立つ準備もして、三年間の中で最も充実する時です。この大切な時間を生徒達が楽しく過ごせるように学校でも総力で臨みます。今後とも、ご家庭のご協力をよろしく願います。最高の卒業式にしましょう！

会計・総合ビジネスコース主任
砂山雄一郎

新型コロナの影響もほぼ無くなり、校外外ともにほとんどの行事が通常に実施できるようになりました。さて、総合ビジネス科では一・二年生の希望者を対象として夏期休業中にインターンシップ(就業体験)を実施しています。今年は過去最多の生徒が参加して、それぞれが将来に向けた職業観を養うことができました。また、三年生の就職希望者も企業見学から始まり、履歴書の作成、面接練習にとしつかりと取り組んできました。進学希望者もオーブンキャンパスへの参加や三者面談を経て志望校が絞られてきたと思います。

そんな姿を見ながら担任の先生も希望進路実現に向けて書類の作成に奮闘しています。

私が一番好きな格言は「人事を尽くして天命を待つ」です。「自分のできることを全てやり、あとは運命に身を任せる」という意味の言葉ですが、私自身も大事な大会前などは堂々としていたのですが、もつとやれたのでは？他にもできることがあったのでは？と内心不安になってしまい、なかなかやり尽くしたという気持ちになることができません。

生徒の皆さんにとって学業・部活動・学校行事・資格取得など、高校生活の三年間は正に人事を尽くしている真つ最中です。最高の天命が下るように、最善を尽くしていきたいものですね。



職員寄稿



ともに歩む

井上博貴



私が本校に赴任してから早くも半年の月日が経とうとしています。私にとって新たな一步を踏み出す中での出会いと経験が自身の背中を押し続けてくれています。また、周りの先生方の暖かいサポートや生徒たちの活気や成長ぶりに感動し、充実した日々を過ごしています。

本校に赴任し、高校生と身近に接することで、自身の高校生活と照らし合わせることが多々あります。

私の高校時代は部活動一筋の生活をしていましたが、教師としての学校生活は学校の様々な部分が見えてきます。生徒との関わりの中では、生徒の長所や取り柄に合わせて努力し、挑戦する姿は多様性そのもので、学校に個性ある色を生み出してくれました。また、生徒の活発な部分と冷静な部分の二面性に圧倒され、大人らしさも感じます。特に行事では生徒たちの表情から誰しもが熱心に取り組む様子が見られ、学級やコースだけではなく、チーム商大附としての力強さを感じます。生徒一人一人によって作り出されるこの雰囲気は本校の教育目標でもある「親愛・礼節・整美」が長くに渡り紡がれてきたからだと思っています。

そして、私にとっては部活動の指導も生徒との特別な関わりになっています。挫折や困難と向き合い、どのように立ち上がりチャレンジするか。それを学ぶ過程で彼らの内に強さと自信が芽生えていく様子は部活動の価値を大いに感じます。そして初めて成功を収めた瞬間や、自分の努力の結果を実感する瞬間。そうした瞬間に立ち会い、喜びを共有することはとても尊

いことに思います。

この学校での日々は、学びと感謝が交差する場所です。これからも本校に携わる多くの人がお互いに学びあい、ともに感謝の気持ちを胸に、素晴らしい学校を築いていけることを楽しみにしています。



日本での私の経験



ビクトリア・マリー・バレット

六年前の、二〇一七年四月に群馬県に初めて来ました。その前、日本語を勉強したのに、三年間く

らい日本語を全然使わなかったんです。そして「JET Program」のALTで働くことが楽しみと思っただけど、私はすごく緊張しました。でも、この学校に来て良かったです。皆さんは親切に受け入れてくれました。この六年間の日本や商大附のお気に入りの経験について話します。

商大附の皆さんは優しく、群馬県や学校などのイベントを説明してくれたので、新しい生活にすぐに慣れて感謝しています。事務室の高橋さんは特に色々なことに誘ってくれました。例えば、観音山公園でフードフェスティバルや富岡のフランスフェア群馬なども高橋さんの家族と一緒に行って、本当に楽しかったです。リップル先生とは家族と自転車ツアーをしました。学校でも色々な先生がインターハイ予選の時一緒にイベントに誘ってくれました。私はあまり日本語がわからなかったんですが、その時に皆さんが私を受け入れてくれました。

日本にいる時間が長くなると、世界中から来たALTと会うことができました。六年間、友達と旅行をして、私は特に東京デイズニー



▲ 2021年10月 ハロウィン
魔女のコスチュームで「Trick or treat.」

この学校に来た時、自分の日本語能力にあまり自信はなかったです。商大附の皆さんは日本語の勉強しなから手伝ってくれました。生徒から「それな」とか「パブリ」という便利な表現

リゾートに旅行するのをたくさん計画しました。アメリカのデイズニーパークに行ったことはないけど、二〇一七年に三年生との初めての遠足から、東京のデイズニーランドもデイズニーシーも二十三回行ったことがあります。デイズニー以外の、留学する時の一番好きな場所にもう一回行ったり、群馬県のような美しい場所に行ったりしました。皆さんは笑っているけど、私の一番好きな群馬県の場合は鬼押し出します。しかし沖繩は一週間の旅行ができてよかったです。日本に楽しい旅行の場所がいっぱいあって、色々なところへ会いに行くと、学んで良かったと思います。

私は、高崎での日本の生活を楽しんでいました。高崎やこの学校で会った友達がいないことは寂しいけれど、会えることができて嬉しいです。皆さんのおかげで、私は素晴らしい六年間を過ごせました。本当にありがとうございます。

2023 関東大会・国体・全国大会 出場結果報告



アーチェリー部

R5. 6.10~6.11 関東大会

男子団体 3位 野尻(F3-6)・土谷(F3-3)・富澤(F3-7)
 女子団体 3位 小池(F3-7)・山室(S3-1)・羽鳥(F2-12)
 男子個人 野尻・土谷・富澤 9位 大河原(F2-8) 57位
 女子個人 小池 9位、山室・羽鳥・平塚(F2-5) 17位

R5. 8.8~8.10 インターハイ

男子団体 5位 野尻・土谷・富澤 女子団体 24位 小池・山室・大藪(F3-9)

R5. 8.20 国体関東ブロック予選

少年男子 7位 野尻・土谷・富澤 少年女子 4位(本国体出場) 小池・山室



バドミントン部

R5. 6.2~6.4 令和5年度関東高等学校バドミントン大会

男子学校対抗 ベスト16
 荻原(F3-3)・三田(S3-1)・小林(F3-6)・立石(F3-6)・大出(F2-2)・堀(F2-3)・相川(F1-10)

R5. 7.7~7.9 国体関東ブロック予選

少年男子 三田史向(S3-1) 予選リーグ3位

R5. 8.17~8.21 インターハイ

男子学校対抗 1回戦
 荻原(F3-3)・三田(S3-1)・小林(F3-6)・立石(F3-6)・大出(F2-2)・堀(F2-3)・相川(F1-10)
 男子ダブルス 荻原大輝(F3-3)・三田史向(S3-1) 1回戦
 小林蒼暉(F3-6)・立石柚月(F3-6) 1回戦
 男子シングルス 三田史向(S3-1) 2回戦
 女子シングルス 相川和葉(F1-5) 2回戦



フェンシング部

R5. 8.2~8.6 インターハイ

男子個人フルーレ 木村珊琥(F2-11) トーナメント1回戦敗退
 男子個人エペ 松本 朔(F3-7) ベスト16
 女子個人エペ 植木あゆみ(F3-7) トーナメント2回戦敗退
 男子個人サーブル 木村珊琥 ベスト16
 女子個人サーブル 金藤沙弥(F3-11) 予選敗退
 男子学校対抗 2回戦敗退
 松本・小島眺太(F3-7)・湯浅祐人(F3-6)・木村
 女子学校対抗 ベスト16
 植木・萩原利佳(F3-7)・榎坂菜々華(F3-11)・砂山青葉(F1-10)

R5. 8.19~8.20 国体関東ブロック予選

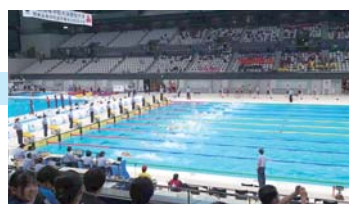
少年男子 4位 松本・木村



水泳部

R5. 7.21~7.23 第74回関東高等学校水泳競技大会

男子50m自由形 清水謙人(F1-3) 記録 25.57 予選敗退



ペップアーツ部

R5. 7.9 関東カラーガードコンテスト2023 高等学校の部 金賞 (全国大会出場権獲得)

田中愛梨(F3-9)・富所千咲(F3-4)・高橋花菜(F3-6)・瀧澤紅杏(F3-7)・岡安結里(F3-11)・清水芽(F2-1)・松原のん(F2-2)・阿久津彩羽(F2-5)・小池陽葵(F2-5)・増田楓華(F2-9)・松井晴恵(F2-9)・吉澤優妃(F2-9)・金田璃子(F2-10)・河原唯愛(F2-10)・石丸優奈(F2-10)・藤井沙羅(F2-11)・境原梨蘭(F2-12)

R5. 8.27 JAPAN CUP 2023 カラーガード部門 第4位 (日本選手権出場権獲得)

田中愛梨(F3-9)・富所千咲(F3-4)・高橋花菜(F3-6)・瀧澤紅杏(F3-7)・岡安結里(F3-11)・清水芽(F2-1)・松原のん(F2-2)・阿久津彩羽(F2-5)・増田楓華(F2-9)・松井晴恵(F2-9)・吉澤優妃(F2-9)・金田璃子(F2-10)・河原唯愛(F2-10)・石丸優奈(F2-10)・藤井沙羅(F2-11)・境原梨蘭(F2-12)・今井夕月(F1-2)・市地結衣(F1-3)・高田雛乃(F1-6)・櫻田若菜(F1-6)・阿藤千歩(F1-9)・深野心遥(F1-9)・鬼形菜由(S1-1)・倉林萌華(S1-2)・津久井優和(S1-2)・中宮麻友(S1-2)



空手道部

R5. 6. 10~6. 11 関東高等学校空手道大会

女子団体組手 吉積心春 (F3-10)・關塚愛麻 (F3-10)・小櫻愛里 (F3-9)・高田蓮菜 (F3-9)・江口若奈 (F2-9)・高橋 華 (F2-12)・関 七彩 (F2-8)

女子団体形 第 5 位 高田蓮菜 (F3-9)・辻本南月・江口若奈 (F2-9)・高橋 華 (F2-12)・寺内瑠菜 (F1-5)・小野 楓 (F1-9)

女子個人組手 吉積心春 (F3-10)

男子団体組手 丸山陸斗 (F3-10)・荒井太輝 (F3-6)・原 奏弥 (F3-10)・遠藤慎弥 (F3-8)・石井徹磨 (F2-11)・温井日陽 (F1-5)・金井侑晟 (F1-6)

男子団体形 堀口魁斗 (S3-1)・加藤謙吾 (F2-9)・塚田一輝 (F2-12)・松井翔汰 (F1-3)・持田真優 (F1-8)・徳井涉介 (S1-1)

男子個人組手 丸山陸斗 (F3-10)



R5. 7. 26~7. 29 インターハイ

女子団体組手 ベスト 16 吉積心春 (F3-10)・關塚愛麻 (F3-10)・小櫻愛里 (F3-9)・高田蓮菜 (F3-9)・江口若奈 (F2-9)・高橋 華 (F2-12)・関 七彩 (F2-8)

テニス部

R5. 6. 10~6. 12 令和 5 年度関東高等学校テニス大会

男子団体 ベスト 8 根本悠希 (F3-11)・大野真寛 (F3-3)・澤入春斗 (F3-11)・橋本宇弘 (F3-8)・尊馬一偉 (F3-7)・中林莉桜 (F2-12)

男子個人シングルス 大野真寛 (F3-3) 1 回戦敗退、橋本宇弘 (F3-8) 1 回戦敗退

R5. 7. 31~8. 7 令和 5 年度インターハイ

男子団体 1 回戦敗退 根本悠希 (F3-11)・大野真寛 (F3-3)・澤入春斗 (F3-11)・橋本宇弘 (F3-8)・尊馬一偉 (F3-7)・中林莉桜 (F2-12)

男子個人シングルス 澤入春斗 (F3-11) 2 回戦敗退、大野真寛 (F3-3) 1 回戦敗退



放送部

R5. 7. 24~7. 26 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場

テレビドキュメント部門 準々決勝

山岸倅太郎 (F3-1)・小俣絢子 (F3-2)・畑中心寧 (F3-3)・金子元紀 (F3-11)・植原帆乃花 (F2-2)・砂長勇菜 (F2-1)・竹中柚月 (F2-1)・山科 玲 (F2-2)・永山結菜 (F2-5)・力武紗彩 (F2-4)・奥村紗弓 (F2-5)・塚越菜々 (F2-5)・小林陽奈 (F2-4)・塚本璃子 (F2-7)・富田涼音 (F2-6)・須藤愛那 (F2-10)・堀越利奈 (S2-1)・塩原菜々美 (S2-1)

R5. 8. 2~8. 5 第47回全国高等学校総合文化祭放送部門鹿児島大会

ビデオメッセージ部門 出場 Hブロック第 6 位

山岸倅太郎 (F3-1)・小俣絢子 (F3-2)・畑中心寧 (F3-3)・金子元紀 (F3-11)



文芸部

R5. 8. 1~8. 4 第47回全国高等学校総合文化祭文芸部門鹿児島大会 出場

短歌 井上綾乃 (F3-4) 俳句 高木唯花 (F3-2) 部誌 今井沙羅 (F2-11)

R5. 8. 18 第24回関東地区高校生文芸大会 (山梨大会) 出場

俳句部門 井上綾乃 (F3-4) 高木唯花 (F3-2)

R5. 8. 18~8. 20 第18回全国高校生短歌大会 短歌甲子園2023 出場

松藤柚希 (F3-2)・新井愛海 (F3-4)・福島 環 (F1-1)

話題作品賞受賞 福島 環 (F1-1)



バトントワリング部

R5. 7. 29~7. 31 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会

マーチングバンド・バトントワリング部門 出場

松島 凜 (F3-3)・高橋穂菜美 (F3-4)・濱井幸那 (F3-5)・阿部由梨愛 (F3-6)・齋藤愛澄 (F3-7)・牧野優香 (F3-7)・三木里伽子 (F3-7)・大塚 聖 (F3-8)・佐藤芽生 (F3-9)・戸丸希咲 (S3-1)・徳江里光央 (F2-6)・長坂心暖 (F2-10)・三友菜緒 (F2-11)・横尾桃名 (S2-1)・大橋紗蘭 (S2-2)









7月
July

主権者教育講演会 R5.7.7

政治家
を見守る
大衆ゲーム!



海外研修 R5.7.16~31



特選・特進中央大学キャンパスツアー
R5.7.28



救急法講習会
R5.7.20



編集後記

「地球温暖化」を超えて「地球沸騰化」を実感する記録的な暑い夏もようやく終わり、秋の訪れを感じられるようになりました。

5月以降コロナが5類に引き下げられたことにより、学校内外の行事や各種大会・コンテストが通常開催され、日々の練習や活動の成果を発揮できる場がやっと戻ってきました。今年は、インターハイが北海道で、総文祭が鹿児島で開催され、多くの生徒が日本の北と南で活躍しました。その様子は、本誌の写真や結果報告でご覧いただけたことと思います。また、4年ぶりにアメリカやベトナムでの海外研修

が再開されました。この3年間でICTの活用が劇的に進み、世界のどこからでもつながることができるようになりました。さらに、どんな言語でもChat GPTや翻訳機能アプリを使えば、簡単に意思を伝えることもできるようになりました。それでも、ただどしくとも、自分の声で表情でからだ全体で伝えることや分かり合えることの喜びを、研修中の生徒の生き生きと笑顔にあふれた表情が表しているように思えました。その土地の空気やにおい、音や味を五感で感じる体験は忘れることのない貴重な体験となったことでしょう。(教頭 大澤)